

Techno Report

テクノレポート

No. 130

危険物地下タンクの規制強化改修の猶予期限は平成25年1月31日です

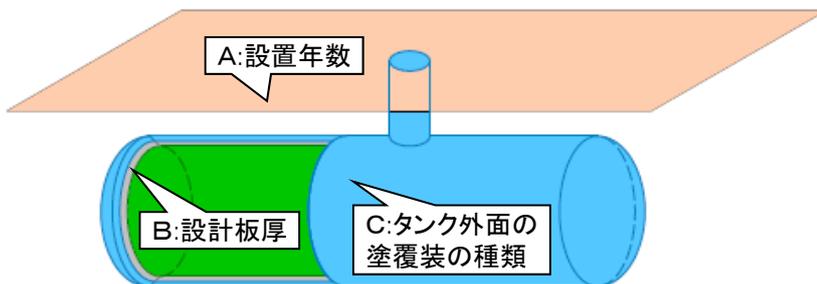
埋設20年以上の危険物地下貯蔵タンクを所有されている方は、必ず目を通してください

2010年6月の消防法改正で、地下に埋められているガソリンや灯油、重油などを保管するタンクの規制が大幅に強化され、埋設後40～50年を超えたタンクは油漏れを防ぐために内面を繊維強化プラスチック(FRP)で加工するか、地下に電極を埋め込み電流を流すことで腐食を防止する対策が義務付けられています。この改修の猶予期間は平成25年の1月31日までの2年間です。

タンクの塗覆装の種類とタンクの設計板厚に対して各設置年数で必要な対策が決まっていますので、期限内の対策が必要な場合はもとより、近い将来の対策に向けての準備が必要です。

埋設20年以上の地下タンクを所有されている方は、弊社担当者に気軽に声をかけて下さい。

鋼製一重殻地下貯蔵タンク(直埋設)の例



A～Cの詳細は弊社担当者に確認して下さい



漏れた後の措置費用は膨大

措置費用事例(地下タンク、腐食開孔)
○平成22年3月 新潟 約1,200万円
重油3,100リットル河川流出
○平成22年4月 北海道 約1,670万円
重油2,700リットル地下漏洩
総務省報道資料より

鋼製一重殻地下貯蔵タンク(直埋設)

漏洩の危険が増加

- ①施設数減少
(H6/H23=83%)
H6=56万 H23=45万
- ②腐食劣化起因
流出事故増加
(地震起因除く)
(H6/H23=255%)
H6=54件 H23=138件
総務省報道資料より

腐食の恐れが特に高いもの

- 下記のいずれかの措置
①FRP内面ライニング
②電気防食

腐食の恐れが高いもの

- 下記のいずれかの措置
①FRP内面ライニング
②電気防食
③常時監視(漏れの早期検知)

それ以外のもの

現在の基準の通り

内面FRP加工事例 弊社地下貯蔵タンク

完全装備で作業



加工前



FRP加工後



発行 藤田テクノ株式会社 テクノレポート発行委員会
〒370-0069 群馬県高崎市飯塚町1174-5 TEL 027-361-8111 FAX 027-361-3686

太田支店 TEL 0276-46-1348 埼玉支店 TEL 049-279-3011 問合せ先: 技術部/酒井、管理部/都木

URL: <http://www.fujita-tec.co.jp> MAIL: m-takagi@mail.fujita-tec.co.jp (メール配信ご希望の方はこちらまで)

本紙は、弊社よりの納品書等の郵送時に同封させて頂きますので重複等が発生する事がございます。予めご了承下さい。

2012年11月10日発行

編集: 都木